

平成 2 9 年度 事業報告書
(平成 2 9 年 4 月 1 日 ~ 平成 3 0 年 3 月 3 1 日)

公益財団法人アサヒグループ学術振興財団

・事業の概況

「人と社会の未来を展望し、主として食、生活及び環境にかかわる科学と文化の研究の助成支援を行い、もってこの分野における学術研究の発展と、国民の生活文化の向上に寄与する」との事業目的に基づき、これからの活躍が期待される研究助成活動を行ない、関連した諸施策を実施した。

1．助成事業

平成29年度の研究助成は、22件1,840万円で、5月10日に助成授与式が開催された。平成30年10月頃開催予定の研究結果報告会に向け、目下研究が進められているところである。

平成29年度助成内訳

件名		助 成		
		申請件数	助成件数	金額(千円)
学術研究助成	生活科学部門	44	6	6,000
	生活文化部門	33	6	4,500
	地球環境科学部門	48	6	5,000
	サステイナブル社会・経済学部門	20	4	2,900
合 計		145	22	18,400

平成30年度の研究助成については、昨年11月1日から12月1日までの1ヶ月間、財団Webサイトを通じて公募を行い、本年1月から2月にかけて各部門個別に開催した選考委員会で、申請書を基に研究内容について厳正に審査、選考を行った。その結果、本年3月9日開催の第3回理事会の承認を経て、答申通り平成30年度研究助成を決定した。

平成30年度助成内訳

件名		助 成		
		申請件数	助成件数	金額(千円)
学術研究助成	生活科学部門	54	6	6,000
	生活文化部門	25	6	4,500
	地球環境科学部門	40	6	5,000
	サステイナブル社会・経済学部門	18	5	2,900
合 計		137	23	18,400

2．助成研究のサポート、社会発信

研究報告会(平成28年度助成者を対象)

10/10 生活文化部門 (6名)

10/13 生活科学部門 (6名)

10/27 地球環境科学部門 (5名)

10/31 サステナブル社会・経済学部門 (5名)

・選考委員の他、理事、評議員、アサヒグループ社内の研究開発部門、CSR部門からも参加し、熱心な質疑が行われた。

研究紀要の作成

平成27年度の学術研究助成の研究結果報告を研究紀要としてまとめ、29年5月より財団Webサイトにて公開している。

3. 情報発信

財団の活動について広く社会に向けて情報発信を行った。

パネル展示

29年7月～10月、アサヒグループ本社ビル・ロビー階にて財団紹介のパネル展示を行った。

講演会開催

29年9月19日、生活科学部門、生活文化部門での過去の被助成研究者を各1名講師としてお招きし、講演いただいた。200名の目標に対し、201名の方々にご参加いただき、アンケート回収166通のうち、84%から「大変良い」「良い」の評価をいただいた。

(講師、演題)

福留 奈美 氏[お茶の水女子大学 基幹研究院 研究員]

平成26年度生活文化部門助成

「生活文化をとらえる視点 ・ ユズと醤油を通して見る、アジアの中の日本 ・」

好田 正 氏[東京農工大学 准教授]

平成27年度生活科学部門助成

「食品のちからを科学する ・ 食品が持つ無限の可能性 ・」

4. 平成29年度 主な事業活動

平成29年度(29年4月1日～30年3月31日)

年	月	日	項目	摘要
平成29	5	9	平成27年度「研究紀要」作成	
	5	10	平成29年度助成授与式	
	6	2	第1回理事会	・平成28年度事業報告、決算書類等承認の件 ・理事候補者、評議員候補者承認の件 ・諸規程変更の件 ・定時評議員会招集の件
	6	21	定時評議員会	・平成28年度事業報告の報告、決算書類等承認の件 ・理事、評議員選任の件 ・役員、評議員の報酬、費用に関する規程

				変更の件 ・委員の報酬、費用に関する規程変更の件
	6	2 1	第 2 回理事会	・代表理事選定の件
	7	2 0	財団紹介パネル展示	1 0 月 3 1 日までアサヒグループ本社ビルのロビー階に展示
	9	1 9	財団主催講演会開催	
	1 0	1 0	研究結果報告会	生活文化部門
	1 0	1 3	研究結果報告会	生活科学部門
	1 0	2 7	研究結果報告会	地球環境科学部門
	1 0	3 1	研究結果報告会	サステナブル社会・経済学部門
	1 1	1	助成公募開始	募集期間：～1 2 月 1 日
3 0	1	2 3	選考委員会	生活文化部門案件の選考
	2	2	選考委員会	地球環境科学部門案件の選考
	2	9	選考委員会	生活科学部門案件の選考
	2	1 5	選考委員会	サステナブル社会・経済学部門案件の選考
	3	9	第 3 回理事会	・平成 3 0 年度事業計画書及び収支予算書等承認の件 ・平成 3 0 年度助成・選考委員会答申書承認の件 ・「職務執行権限規程」及び「理事の職務権限規程」改定の承認の件 ・「理事会運営規程」改定の承認の件 ・「法人印管理規程」改定の承認の件

． 処務の概要

1 ． 役員に関する事項

理事、評議員の異動

平成 2 9 年度中の財団人事は、次の通り

平成 2 9 年 6 月 2 1 日	理事	退任	高橋 勝俊
	理事	選任	加賀美 昇
	評議員	退任	加賀美 昇
	評議員	選任	佐見 学

平成 2 9 年度末の現職役員、評議員及び選考委員は次の通り

役職名	氏名	就任年月日	担当職務	主な職業
代表理事	加賀美 昇	29-06-21	本法人代表	アサヒグループホールディングス取締役
業務執行理事	粟津 晶	28-06-22	業務全般	財団常勤
理事	兒玉 徹	28-06-22		東京大学名誉教授
同	清水 誠	28-06-22		東京大学名誉教授
同	飽戸 弘	28-06-22		東京大学名誉教授
同	江原 絢子	28-06-22		東京家政学院大学名誉教授
同	小川 利紘	28-06-22		東京大学名誉教授
監事	西村 勝秀	28-06-22		公認会計士西村勝秀事務所
同	武藤 章	28-06-22		アサヒグループホールディングス監査役

評議員	島田 淳子	28-06-22		お茶の水女子大学名誉教授
同	上野川 修一	28-06-22		東京大学名誉教授
同	鈴木 稲博	28-06-22		日本リサーチセンター社長
同	村田 幸作	28-06-22		京都大学名誉教授
同	原島 俊	28-06-22		崇城大学教授・大阪大学名誉教授
同	伊藤 義訓	28-06-22		アサヒビール取締役
同	佐見 学	29-06-21		アサヒグループホールディングス執行役員
選考委員	佐藤 隆一郎	28-06-02	生活科学部門	東京大学大学院教授
同	小川 順	28-06-02	同	京都大学教授
同	神田 智正	28-06-02	同	アサヒグループホールディングス執行役員
同	下村 道子	28-06-02	生活文化部門	大妻女子大学名誉教授
同	秋野 晃司	28-06-02	同	女子栄養大学教授
同	香西 みどり	28-06-02	同	お茶の水女子大学教授
同	陽 捷行	28-06-02	地球環境 科学部門	北里大学名誉教授
同	及川 武久	28-06-02	同	筑波大学名誉教授
同	植松 光夫	28-06-02	同	東京大学教授
同	山本 良一	28-06-02	サステナブル 社会・経済学部門	東京大学名誉教授
同	川村 久美子	28-06-02	同	東京都市大学教授
同	高岡 美佳	28-06-02	同	立教大学教授

2. 職員に関する事項

なし

3. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開会年月日	議事々項	会議の結果
29-06-02	第1回理事会 ・平成28年度事業報告、決算書類等承認の件 ・理事、評議員候補者承認の件 ・諸規程変更の件 ・定時評議員会招集の件	原案通り承認 原案通り承認 原案通り承認 原案通り承認
29-06-21	第2回理事会 ・代表理事選定の件	原案通り承認
30-03-09	第3回理事会 ・平成30年度事業計画書及び収支予算書等承認の件 ・平成30年度助成・選考委員会答申書承認の件 ・「職務執行権限規程」及び「理事の職務権限規程」改定の承認の件 ・「理事会運営規程」改定の承認の件 ・「法人印管理規程」改定の承認の件	原案通り承認 原案通り承認 原案通り承認 原案通り承認 原案通り承認

(2) 評議員会

開会年月日	議事々項	会議の結果
29-06-21	定時評議員会 ・平成28年度事業報告の報告、決算書類等承認の件 ・理事、評議員選任の件	原案通り承認 原案通り承認

	・役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程変更の件	原案通り承認
	・委員の報酬等並びに費用に関する規程変更の件	原案通り承認

4．許可、認可及び承認に関する事項

該当事項なし

5．契約に関する事項

該当事項なし

6．寄付金に関する事項

寄付の目的	寄付者	申込金額	領収金額	備考
財団運営資金	アサヒグループホールディングス株式会社	33,000,000 円	23,000,000 円 10,000,000 円	平成 29 年 4 月 28 日 平成 29 年 7 月 3 日
平成 29 年度寄付金総額		33,000,000 円	33,000,000 円	

7．行政庁指示に関する事項

該当事項なし

8．その他、重要事項

該当事項なし

附 属 明 細 書

平成 29 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しない。

平成 30 年 6 月

公益財団法人アサヒグループ学術振興財団

以上